

# みえの食関連産業のステージアップに向けて（みえ食の産業振興ビジョンの改訂）

伊勢志摩サミットの成果を生かし、食関連産業のさらなるステージアップ（高付加価値化）を図っていくため、平成29年3月に「みえ食の産業振興ビジョン」を改訂しました。

## ◇ 伊勢志摩サミットによる成果 ◇

古（いにしえ）から脈々と受け継がれてきた食文化を背景に、県民の手で育まれてきた食材やお酒が、食器など食を彩る品々とともに、本県ゆかりの料理人により提供され、国際メディアセンターにおける県内事業所の先端技術の紹介などとともに、「みえの食」の総合的な魅力がG7首脳をはじめ、訪れる人々を魅了しました。

配偶者プログラムでは、調理技術を学ぶ高校生がつくった料理や、障がい者が活躍する事業所がつくった菓子の提供が好評を博し、さらに、大規模需要に対応した食事を提供するための事業者間の連携が構築されるなど、県民の世界に通用する「みえの食」への認識が深まり、世界に向けて県民の視野が飛躍的に広がりました。



国際メディアセンター  
でのお茶の手もみ実演



G7首脳の配偶者と  
相可高校生



首都圏の展示商談会の様子  
事業者とバイヤーとの面談数  
H27. 2約1,600件→H28. 2約3,900件

「食」の魅力を総合的にコーディネートできることが、三重県の“強み”であり、「食」に関する本県のポテンシャルの高さが、サミットという最高の舞台を通じて国内外に発信され、知名度の向上や、地域の総合力の発揮につながりました。

こうした知名度の向上とともに高まったニーズや期待を的確にとらえ、それを上回る対応で応えていくことにより、食関連産業のステージアップ（高付加価値化）につなげていくことが重要です。

## ◇ ポストサミットの視点でステージアップに向けた取組を推進 ◇

### 国内外における「みえの食」のグローバルな市場の獲得

- ◇東京オリンピック・パラリンピックを見据え、県産農林水産物の戦略的な販路の拡大を推進します。
- ◇JETROなどの関係機関や先駆的な事業者と連携して、アジア地域の富裕層をターゲットとした輸出を進めます。
- ◇三重県版経営向上計画に基づく事業者の戦略的な海外での営業活動に対して、助成や現地アドバイザーによる支援を行います。
- ◇首都圏等への販路拡大に向けた多様な販路の開拓につながる場づくりを行います。
- ◇事業者の商品戦略企画力の向上を支援します。

### 地域の総合力を生かしたローカル・ブランディングの推進

- ◇多様な地域性を生かした付加価値向上を目指し、地域商社機能の自立化など、新たな販路開拓の仕組みの構築を進めます。
- ◇農林水産・加工品事業者と、飲食・宿泊事業者などとのマッチングの場をつくります。
- ◇首都圏営業拠点「三重テラス」や「みえの食国際大使」など、さまざまなネットワークを活用し、県産品のブランド力の向上や、インバウンドの増加につなげていきます。
- ◇全国菓子大博覧会の開催を契機に、新たに商品化された菓子などを「みえの食」の新たな魅力として広く発信します。
- ◇歴史風土や文化に由来するオリジナリティの強いストーリーを掘り起こし、発信します。
- ◇先端的な製造技術や保存技術などを生かした商品・サービスの開発や販路開拓などの方策について検討していきます。

### 食関連産業の将来を担う人材の育成

- ◇県内に若き農業ビジネス人材を呼び込み、育成するため、県農業大学校に経営力を養成する新農業コースを設置し、産学官連携による魅力ある受入体制の整備を図ります。
- ◇県内の食関連産業が求めている人材像の把握や教育機関の取組状況を調査するとともに、産業界や教育機関等と連携し、人材育成の仕組みについて検討していきます。
- ◇職業学科の高校生を対象に、欧米のレストラン等で実習等を行う海外インターンシップを行います。